

(タイム)

出合七・〇〇―程沢出合八・〇〇―竜崎沢出合九・三
〇―芳沢出合九・五五―白布高湯二一・〇五

上流部遡行

一九八〇年十月十九日

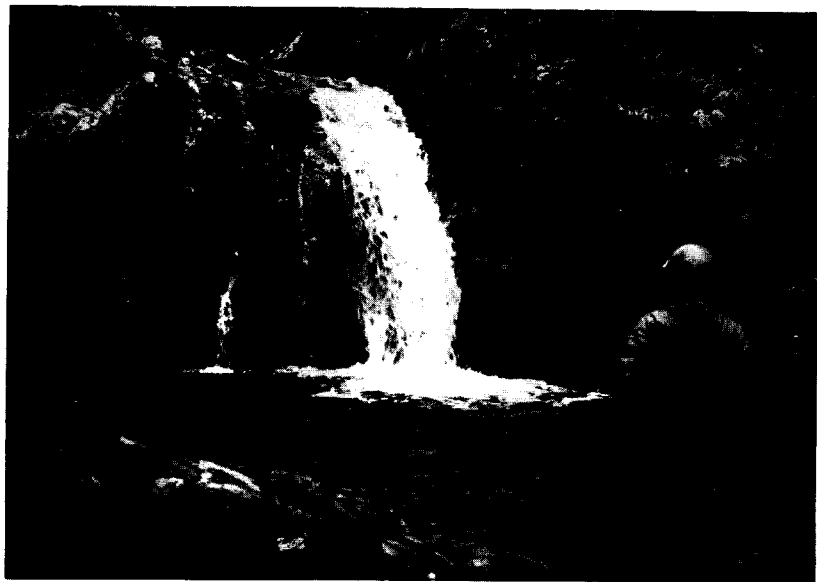
◆天気(雨)

前回のやり残しなので、多少の雨はがまんして沢に入る。今回は芳沢出合から上部を遡行。

出合のすぐ上に砂防ダムが二つあるが、いずれも右岸に捲き道が付いている。ここでイワナの姿を見かけた。

F6四ノ滑滝を過ぎ小さなゴルジュを通過すると洗納沢出合。ここからF7、F8が見えている。F7四ノ滑滝・F8五ノ滑滝を過ぎ小滝。この滝の上と下に淀沢がわかれて入っている。続くF9は左岸をへつってとりつき直登。そして右岸に渡りF10、F11を直登する。左右から支沢が合流し、本流にはトロや小滝がある。

九時五五分ヤハズ沢出合。水量比はほぼ一・一。だがわずかに本流の方が多い。予定はヤハズ沢に入るのでは



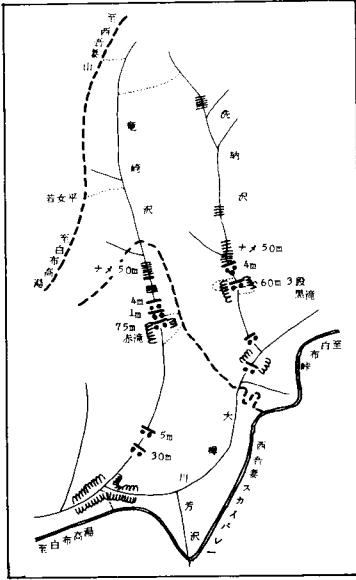
大樽川を遡る

つたが、そのまま本流を進む。一時間程歩くと滑。二〇
 〇位の長さはあろう。右より支沢が滑となってそい
 である。ここよりこの小沢に入る。本流は少し先で二
 程の小滝がかかっていた。すぐ水もかれ二五分程で登山
 道に出た。ずいぶん上まで遡ってきたもので、ヤハズ沢
 の水源となっている馬場谷地の湿原まで三五分かかっ
 た。

(記・)

〔タイム〕

芳沢出合七・三五―洗納沢出合八・二〇―淀沢出合八・
 三〇―ヤハズ沢出合九・五五―沢終了一一・二〇―登山道
 一一・四五―馬場谷地一二・二〇―白布峠一三・二五



竜崎沢，洗納沢（作図：）

竜崎沢（下降）

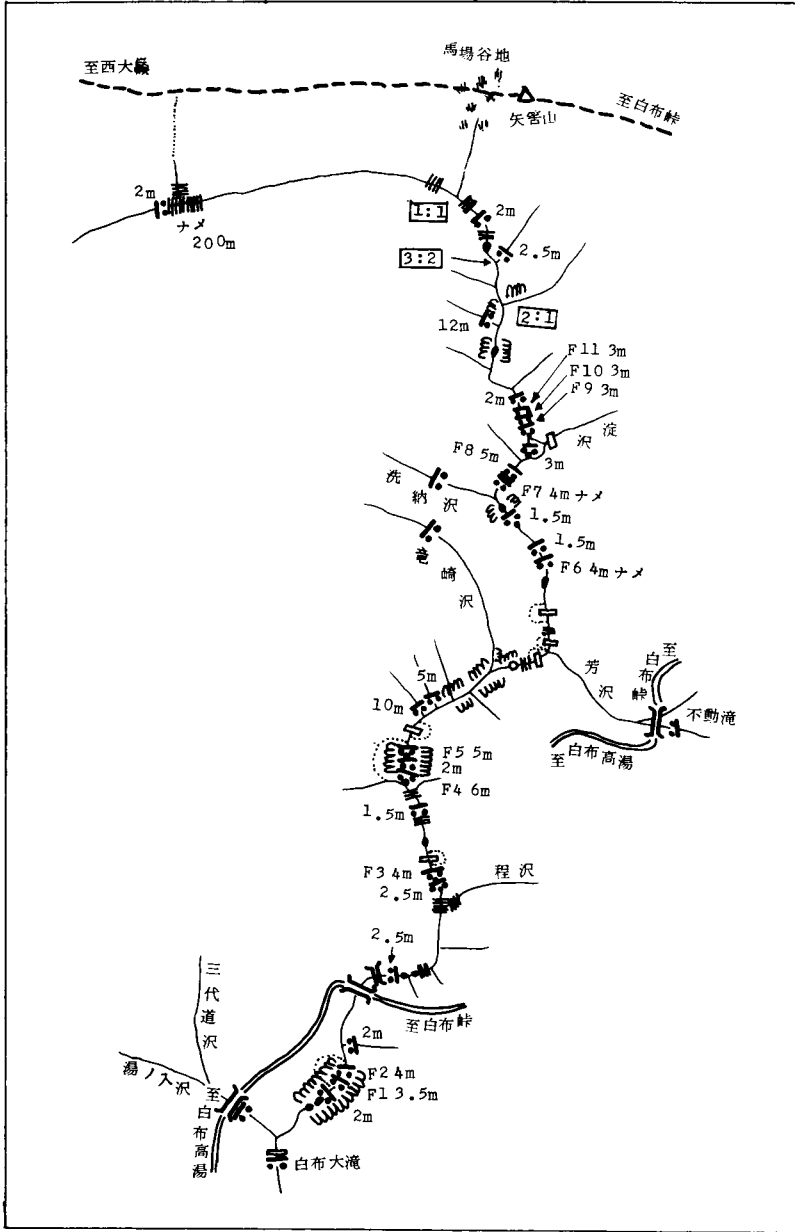
一九七八年八月十三日

◆天気（晴）

一一時二〇分下降開始。最初は平凡である。やがて踏
 跡が沢を横切る。その踏跡はスカイバレー開通記念碑の
 建つ展望台へと続いているようだ。ナメを越えなおも下
 ると小滝がある。そしてすぐ赤滝。七五の垂直に近い
 滝だ。左岸ブッシュ帯を下ろうとしたが下部が岩壁にさ
 えざられてとても無理。大きく左岸をまいたら先ほどの
 踏跡に出た。踏跡を下ったあとまたブッシュの中に入り
 赤滝の下に出る。一二時二〇分、三〇分程休んでまた出
 発。その先の五の滝は慎重にクライミングダウン。すぐ
 三の滝。右岸を少し下ったあとザイルを出して二の滝
 の懸垂下降。登ることならできそう。このあとすぐ大
 樽川に出る。一三時四五分。

〔タイム〕

若女平一一・一〇―沢一一・二〇―赤滝一一・四五―
 大樽川出合一三・四五



大樽川 (作図:)